

基本目標	12	災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る
------	----	----------------------------------

## 1 基本目標の2021年度の成果評価

## (1) 基本目標

評価のポイント	未来デザインを上から下へ俯瞰する視点で方向性・妥当性の評価
① 基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	
<b>【評価】 【課題】</b>	
小平 委員	<b>【評価】</b>  <b>【課題】</b> ・消防団員の確保・災害発生時・前の市民の対応（避難タイミング・避難順路等）
西森 委員	<b>【評価】</b> ・妥当 <b>【課題】</b> ・原材料費や事業費が高騰する中、予算も含めより計画的で実行性のある施工が必要。
宮脇 委員	<b>【評価】</b> ・概ね妥当と評価する。 近年の異常気象から来る災害級の豪雨や温暖化からどう生命・生活を守れば良いのかという視点に立っている為。 <b>【課題】</b> ・地域防災力の向上を図るには、地域消防団など一定の組織を柱にしつつ、地域・市民での自主防災活動への変更も迫られる時期に来ており、求められる課題。
筒井 委員	<b>【評価】</b> ・継続 <b>【課題】</b> ・豪雨災害リスク減らす為の準備が必要
古川 委員	<b>【評価】</b> ・取り巻く状況の認識は 妥当 <b>【課題】</b>
熊谷 委員長	<b>【評価】</b> ・妥当 <b>【課題】</b> ・課題認識は概ね妥当
新井 委員	<b>【評価】</b> ・概ね妥当 <b>【課題】</b> ・20 地区へ丸投げ感は否めない。
原 副委員長	<b>【評価】</b> ・妥当。 <b>【課題】</b> ・ただ、消防団の団員不足に対する認識は合っているが、行政としてのどうこの事態を評価しているかが記載されていないので、検討されたい。

下平 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妥当である。近年の災害大規模化と社会基盤施設の老朽化をとらえ、優先順位を決めて長寿命化を行っている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防団の団員確保</li> </ul>
橋爪 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概ね妥当と思う。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豪雨災害が多発しているが、避難指示がでてでも非難する人が少ない。市民の災害に対する意識の向上が必要。</li> </ul>
市瀬 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妥当と考える。平時から想定されるリスク認識や、正しい防災知識を身に付け、備えるなどの考え方など大切である。</li> </ul> <p>【課題】</p>
清水（優） 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妥当</li> </ul> <p>【課題】</p>
竹村 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識は、概ね妥当と評価する。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会基盤施設の一斉修繕・更新期を迎えるにあたり、優先順位をつけいかに修繕・更新を分散させることができるかが課題である。</li> </ul>
清水（勇） 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妥当</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題委認識は妥当と思う</li> </ul>
永井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妥当</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民の、災害に対する危機意識をどう高めていくか</li> </ul>

評価のポイント	戦略計画との関係性、目標達成への貢献度・成果の評価
② 取り組みの内容をどう評価するか  【評価】 【課題】	
小平 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災行政無線整備は評価できる</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の緊急合同点検は迅速に進んだが未だ危険箇所はありどのように継続するか</li> <li>・河川等が多く強靱化を進めなくてはならない</li> </ul>
西森 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の達成は、項目によっては効果の上がないものもあるものの実行した施策内容は努力がうかがえ評価できる</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練等もコロナ渦にて縮小ムードの中の開催にて参加人員が評価できない状況にある。</li> <li>・訓練の内容や行政の関わった訓練には、まだまだ研究の余地あり。</li> </ul>
宮脇 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心安全なまちづくりの視点に立ち、デジタル化を活用した取り組みや交通事故防止への啓発など、具体的な成果を評価する。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災の取り組み及び災害への備えとして、誰でも出来る身近な取り組みへの支援が必要。(静岡県三島市の例：黄色いハンカチ運動への啓発)</li> </ul>
筒井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準用河川の調査をもとにすみやかな対応が大事。</li> </ul>
古川 委員	<p>【評価】</p> <p>【課題】</p>
熊谷 委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で取り組む防災・減災のまちづくりなど支援する取り組みは評価できる。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害復旧や社会基盤の維持修繕を担う技能・技術者などの育成支援や意識した工事発注、研修体制の取り組みが見えない。</li> </ul>
新井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね妥当</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国、特に県との連携が弱い。市独自でやり遂げたい感は痛いほど伝わるが、結果が伴っていない。</li> </ul>
原 副委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね妥当。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員確保には危機的な状況であることが想定される。これを改善していくためには行政としてどうこの問題に取り組むかが問われると考えるので、行政としてやるべきことを検討されたい。</li> </ul>

下平 委員	<p>【評価】</p> <p>【課題】</p>
橋爪 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価できると思う。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員確保については、地域内に平日でも出動できる協力していただける準団員の確保が必要。</li> </ul>
市瀬 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル防災行政無線整備、各危険箇所調査など計画通り出来ていることは良い取り組みが出来たと評価します。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係（防災訓練や消防団員集め）が生ずる取り組みがしづらい。</li> </ul>
清水（優） 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妥当</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>地域防災力の要である消防団員の定数確保にむけた、実効性のある取り組みが必要と考える。</p>
竹村 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標と戦略計画の連携が図られた取組内容となっており、また成果や目標達成に向けた課題認識、今後の展開方法が明確となっており、概ね妥当と判断する。</li> <li>・有事の際に実際に避難行動に結びつけるための率先安全避難者制度をスタートさせたことは評価できる。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・率先安全避難者制度の他地区への水平展開、実際に避難行動に結びつくかが今後の課題であり注視する必要がある。</li> </ul>
清水（勇） 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組み内容と成果については評価する</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題認識、今後の展開の2項目についてはより内容を把握して取り組む</li> </ul>
永井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗状況確認指標「③策定義務対象となる要配慮者施設避難確保計画」策定は、速やかに取り組めたこと</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進めていることは間違いないが、スピードが課題</li> </ul>

## (2) 戦略計画

年度戦略 (小戦略)	12-①	災害情報伝達手段の多様化と避難の実効性を高める
評価のポイント	基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 【成果】 【課題・方向性等】		
小平 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練への参加や説明会等で成果あり</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居高齢者や中山間地域における認識の強化、隣近所の共助認識</li> </ul>	
西森 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災無線広報のデジタル化への移行は順調に行われ評価できる。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハード面での装備等の強化は充実している。ソフト面（ハザードマップの実用性実行性に基づいた見直し）を今後も小さな集まりの中で充実させる。</li> </ul>	
宮脇 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化の流れを防災無線、中継局整備へ展開している。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップの活用説明会など地域防災への準備として欠かせない取組みへ、いかに多くの市民を啓発できるかが課題。</li> </ul>	
筒井 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	
古川 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災無線のデジタル化進む</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「音の聞こえがよくなった」とあるが少なからずの市民から「聞こえない」との声聞く。現状把握と対応必要。</li> </ul>	
熊谷 委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災行政無線のデジタル化やわが家の避難計画づくりの取り組みは評価できる。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害警戒情報発令時に避難所を開設しても、避難対象者が避難してこない実態がある。避難所を開設する意義が問われかねないが対応策はないか。率先安全避難者制度がその一つと思われるが避難対象者への啓発を引き続き進められたい。</li> </ul>	
新井 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね妥当</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代と共に移り変わるだろう。この先、多くの外国籍の皆さんが訪れていただく市にしなければならぬその時に、対応できる術も検討時期かもしれない。</li> </ul>	
原 副委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね妥当。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者名簿の作成を進めてきているが、福祉の要支援者名簿・マップと合わせて、その使い難さ（個人情報保護）がある。人命保護と助け合い地域づくりの観点から、使えるものするための目的利用の要件を定めた条例化なども併せ検討されたい。</li> </ul>	

下平 委員	
橋爪 委員	
市瀬 委員	
清水（優） 委員	
竹村 委員	
清水（勇） 委員	<b>【成果】</b> ・取り組みは妥当 <b>【課題・方向性等】</b> ・地域により地形、人数など条件の違いがある検証して取組む
永井 委員	

年度戦略 (小戦略)	12-②	災害対策本部の機能強化を図り、より実践的な防災訓練の実施
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 【成果】 【課題・方向性等】		
小平 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に危険を伴う土砂災害特別警戒区域の住民に対して連絡網、訓練が進む成果あり</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有事の際の連絡体制を二重にも三重にも作る</li> </ul>
西森 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価する</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本部および地区拠点となる自治振興センター・公民館の職員配備のより実践的な配置と職員採用が望まれる。</li> </ul>
宮脇 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レッドゾーン地域住民への避難情報を伝達できるしくみづくりが出来ている。(自治振興センター受信後 30 分以内)</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ影響もあり、集合離散の防災訓練から SNS を活用した現場判断訓練への変更をどう取組むか課題。</li> </ul>
筒井 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織と消防団の連携</li> </ul>
古川 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みは評価</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月の土砂災害・全国統一防災訓練、地区により成果に差がある。不在時の連絡については以前から課題となっているが進展がない。</li> </ul>
熊谷 委員長		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達訓練の実施により警戒区域に居住する住民への情報伝達の仕組みは整ってきている。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練について、現在避難所開設と情報伝達訓練を主に実施しているが、避難所開設においては、コロナ対策や女性のプライバシー保護、高齢者対応など実態に即したきめ細かな訓練が必要と考える。地区の自主防災会組織が有事の際機能できるか、特に大地震での対応は非常に厳しいものがある。年2回の訓練だけでなく、各地域の独自訓練指導や支援等実施されたい。</li> <li>・災害時での、他市で取り組まれている「黄色いハンカチ作戦」を検討されたい。</li> </ul>
新井 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね妥当</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね妥当</li> </ul>
原 副委員長		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね妥当。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策本部の充実に重ねて、各地区自主防災会の育成にも目を向けた活動をされたい。</li> </ul>

下平 委員	
橋爪 委員	
市瀬 委員	
清水（優） 委員	
竹村 委員	
清水（勇） 委員	<b>【成果】</b> ・取り組みは妥当 <b>【課題・方向性等】</b> ・地域の状況を把握し、よりよい対応に努める ・取り替えた防災無線の状況を把握して対応する
永井 委員	



年度戦略 (小戦略)	12-③	飯田市第 12 次消防力(消防団)整備計画に基づく消防力の維持・向上
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 【成果】 【課題・方向性等】		
小平 委員	<b>【成果】</b> ・消防車両や詰所も高機能・高装備になっている <b>【課題・方向性等】</b> ・消防車両や詰所も高装備になっているが必要性は？ ・消防団員確保 維持継続が出来るのか	
西森 委員	<b>【成果】</b> ・評価に値するも結果が伴っていないのが残念 <b>【課題・方向性等】</b> ・地域課題としてまちづくり委員会の検討課題とし一緒に一層考えてもらうことが必要	
宮脇 委員	<b>【成果】</b> ・消防団の勧誘促進を地域及び消防団 OB などを活用し、女子入団者も出てきている。 <b>【課題・方向性等】</b> ・消防団員不足解消へ、女性団員からその魅力を聞くなど広報に多様性を持たせることが出来ないか検討が必要。	
筒井 委員	<b>【成果】</b> ・継続 <b>【課題・方向性等】</b> ・特になし	
古川 委員	<b>【成果】</b> ・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の施行。「将来にわたり欠くことのできない代替性のない存在」と位置付けていることは評価 <b>【課題・方向性等】</b> ・団員不足の解消課題	
熊谷 委員長	<b>【成果】</b> ・消防車両や団員安全のための装備などの整備が進んできており評価できる。 <b>【課題・方向性等】</b> ・団員の確保は長年の課題だが特効薬がない。団員のいる家庭への何らかの補助(育児手当、配偶者手当、介護手当など、地区においては自治会費の免除など)は考えられないか。	
新井 委員	<b>【成果】</b> ・概ね妥当 <b>【課題・方向性等】</b> ・元気なリタイア層に期待する。	
原 副委員長	<b>【成果】</b> ・概ね妥当。 <b>【課題・方向性等】</b> ・資機材の整備は充実してきているが、人員確保が大きな課題。この点に行政として向き合っているかという点、地域任せの感が有る。市長を先頭に、安心安全のまちづくりの観点からこの問題に積極的に取り組まれないか。	

下平 委員	
橋爪 委員	
市瀬 委員	
清水（優） 委員	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妥当</li> </ul> <p><b>【課題・方向性等】</b></p> <p>① 団員確保については、各分団単位で工夫を凝らし取り組まれているが、依然厳しい状況から抜け出せない。飯田市として、消防団員の必要性の広報や団のイメージ向上につながる活動に、より積極的に取り組まれない。広報活動費の予算増はどうか。（成果は下記②の指標で確認していく）</p> <p>② 消防力の維持・向上には、消防団の存在が欠かせない。消防団員定数確保にむけた KPI を設定されたい。</p>
竹村 委員	<p><b>【成果】</b></p> <p><b>【課題・方向性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団員確保にあたり、「なぜ消防団に入りたくないのか」「団員登録しているのになぜ参加しないのか」の現状分析を行い、その上で「加入促進に向けて何をしなければならないのか」検討することが必要である。</li> </ul>
清水（勇） 委員	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みは妥当</li> </ul> <p><b>【課題・方向性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災、災害など、安全に対応できる装備の充実に努める</li> </ul>
永井 委員	

年度戦略 (小戦略)	12-④	通学路生活道路の安全確保と高齢者人身交通事故の抑止
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 【成果】 【課題・方向性等】		
小平 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他市の事件を受け通学路の緊急対応は、スピードもあり良かった</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間や、降雨時降雪時の安全確保</li> </ul>	
西森 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急点検以後の対応は評価に値する。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年上がってくる道路等の改良地区要望に合わせた通学路の一斉点検を行い、地区要望として挙げて頂くことが地域課題となるのでは。</li> </ul>	
宮脇 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路点検を実施し 30 カ所を選定、22 カ所を令和 3 年度内改修が出来ている。</li> <li>・高齢者の人身交通事故も減少しており、啓発活動に一定の成果があったと評価できる。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の一斉点検ヶ所の周知と改修状況を保護者含め周辺市民へどう開示しているのかが見えない。安全意識の共有を図る機会を逃していないか。</li> </ul>	
筒井 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路に害獣（サル）の被害が出始めた。</li> </ul>	
古川 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の事故減少・コロナ禍ではあるが児童による啓発など評価</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童による啓発の拡大…好事例としての横展開</li> </ul>	
熊谷 委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の安全施設整備や緊急合同点検による対策必要箇所の整備が完了した。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで実施してきたグリーンベルトなど安全施設について、塗装の劣化が進んでいる箇所があり、今後改修を進められたい。</li> </ul>	
新井 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残念である。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国各地での痛ましい事案。そのような中で、道路改良の可否を地域に投げかけている時点で、行政の役目を放棄している。やるべき事は、その時にすぐやろう。</li> </ul>	
原 副委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね妥当。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね妥当。</li> </ul>	

下平 委員	
橋爪 委員	
市瀬 委員	
清水（優） 委員	<b>【成果】</b> ・ 人身事故交通事故件数が指標に加えられた。 <b>【課題・方向性等】</b>
竹村 委員	
清水（勇） 委員	<b>【成果】</b> ・ 戦略は妥当と思う <b>【課題・方向性等】</b> ・ 地区の安全確認、安全対策については、多面的な角度から把握して取り組むこと
永井 委員	

年度戦略 (小戦略)	12-⑤	災害時にも都市機能が維持でき、暮らしを支える社会基盤の戦略的強靱化
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 【成果】 【課題・方向性等】		
小平 委員		【成果】 ・河川や水利確保の整備 【課題・方向性等】 ・トイレの洋式化とともに除菌も必要、災害時に使用できる排水
西森 委員		【成果】 ・近年の災害に対する対応も含め評価する。 【課題・方向性等】 ・各施設の長寿命化を計画的に進めるとともに、災害復旧の早期着手ができるように。
宮脇 委員		【成果】 ・橋梁、河川、排水路、公園など具体的な実績数値を残しており評価したい。 【課題・方向性等】 ・昨今の災害級の豪雨などを想定し、どう優先順位をつけ整備計画へ反映するかが課題と認識する。
筒井 委員		【成果】 ・継続 【課題・方向性等】 ・特になし
古川 委員		【成果】  【課題・方向性等】
熊谷 委員長		【成果】 ・河川の危険箇所調査が徐々に進み台帳整備に向け取り組んでいる。評価できるが、スピード感を持って進めて頂きたい。 【課題・方向性等】 ・準用河川のみならず排水路、普通河川などの調査も進め整備計画を立てられたい。 ・未整備の急傾斜地や土砂災害警戒区域における特別危険箇所について、国県など関係機関と協議を進め整備計画を策定し実施されたい。
新井 委員		【成果】 ・概ね妥当 【課題・方向性等】 ・国、特に県との連携が弱い。市独自でやり遂げたい感は痛いほど伝わるが、結果が伴っていない。私はそうは思わないが、国の関与を否定する選挙結果もある故、それほど危機感はないのかもしれない。
原 副委員長		【成果】 ・概ね妥当。 【課題・方向性等】 ・河川の維持（改良及び河床浚渫）について、予算提案も含め充実されたい。

下平 委員	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね妥当である。橋梁、都市公園の長寿命化。準用河川危険個所調査。妙琴浄水場更新整備計画の遂行。</li> </ul> <p><b>【課題・方向性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業の経営基盤を高める。</li> </ul>
橋爪 委員	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通学路の安全対策、市道の整備、災害危険個所の整備等適格に進められており役割を果たしている。</li> </ul> <p><b>【課題・方向性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河川整備はリスクの高いところから早急に実施されたい。</li> </ul>
市瀬 委員	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会基盤等の計画的な長寿命化・強靱化は進められていると思う。</li> </ul> <p><b>【課題・方向性等】</b></p>
清水（優） 委員	<p><b>【成果】 妥当</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>準用河川危険個所調査の指標が加えられた。</li> </ul> <p><b>【課題・方向性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長寿命化の時代に入り、特に建築・土木関係の技術・技能者の確保・育成が急務である。実効性のある施策を早急に講じられたい。例えば、雇用対策事業（No. 145）のつなぐ事業において、当該事業者への集中的アプローチ。また、技能者育成支援事業（No. 146）を戦略計画に紐づけ、拡充する等。予算提言も視野に入れたい。（基本目標 1-④にも記載）</li> </ul>
竹村 委員	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河川・排水路整備、都市公園長寿命化工事、準用河川危険個所調査は計画に沿って順調に進んでおり、基本目標の達成のために概ね役割を果たしている。</li> <li>一方で、橋梁長寿命化工事は R6 目標値の見直しを含め今一度検討し、確実な整備・補修に努められたい。</li> </ul> <p><b>【課題・方向性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標の達成に向けた課題認識・方向性は妥当と判断する。</li> </ul>
清水（勇） 委員	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦略は妥当と思う</li> </ul> <p><b>【課題・方向性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題や今後の方向性の項目をよく検証して取り組む</li> </ul>
永井 委員	<p><b>【成果】</b> <b>【課題・方向性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取り組んではいる</li> <li>対象となる進捗状況確認指標の⑤～⑦について、目標年度までに必ず達成してほしい</li> </ul>

## (3) 実績を踏まえた事業確認

評価のポイント	現状確認と今後に向けた課題・方向性等
2022 年度戦略の方向性・妥当性、社会的環境変化への適応状況等を反映しているか	
小平 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近年の豪雨による水害対策、水位巡視の必要性</li> <li>・ 情報連絡網も停電や通信異常もあり複数の情報伝達が必要（サイレン、半鐘）</li> </ul>
西森 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妥当</li> </ul>
宮脇 委員	
筒井 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妥当</li> </ul>
古川 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視察した三島市では、夜間の訓練や児童生徒の参加、高校生の「チャリンコ隊」など多彩な訓練を行っており当市もマンネリ化している訓練から多彩な訓練を行ってはどうか</li> </ul>
熊谷 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概ね妥当</li> </ul>
新井 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概ね妥当。ただ、リニア関連事業はチャンスを活かした都市基盤事業に結び付いていない。</li> </ul>
原 副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概ね妥当。ただ、消防団の体制強化は21年度も上げて有ったが、ほとんど成果を挙げていない。施設や活動内容の改善は上げているが、何故消防団に入団しないのかの調査を行い、入団拒否の真因を分析し対策を立てられたい。飯田市を挙げた物心両面の支援策に取り組みたい。</li> </ul>

下平 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね妥当である。ハザードマップの更新やデジタル防災行政無線の整備など、環境変化に対応出来ている。何としても消防団員を増やしたい。</li> </ul>
橋爪 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的環境変化に対して状況把握が的確にされており妥当と思う。</li> </ul>
市瀬 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団に関して、体制強化も重要だが、団員確保を戦略に入れてはどうか。公共インフラまでグリーンインフラが導入できるか？</li> </ul>
清水（優） 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>妥当</li> </ul>
竹村 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状分析に基づく今後の方向性が2022年度戦略に反映されており、概ね妥当と判断する。</li> </ul>
清水（勇） 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略は妥当と思う</li> </ul>
永井 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急避難場所となる都市公園等のトイレの様式化が盛り込まれた</li> </ul>



## (4) 進捗状況確認指標

評価のポイント	達成度を成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か	
小平 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練に参加割合のKPIは必須でよい</li> <li>【課題】 防災訓練参加率向上とともに内容の充実（夜間避難、自宅会社以外にいた時の避難場所等）</li> <li>・避難場所での体制の</li> </ul>
西森 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の評価とする。</li> <li>・コロナ渦等の感染症は現代病といってもよく終息とはいかない中で、どのようにして実践を行う（終息時期に訓練延期等）等を含めた検討も必要。</li> </ul>
宮脇 委員	
筒井 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妥当</li> </ul>
古川 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPI①の訓練に参加した市民の割合だけでなく障がい者は？高齢者は？児童生徒は？など参加状況や内容を指標に取り入れては</li> </ul>
熊谷 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の危険箇所調査が完了し、整備計画策定後には危険箇所数と年度進捗の指標が必要となる。</li> </ul>
新井 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね妥当</li> </ul>
原 副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね妥当だが、消防団員の確保についての指標を挙げられたい。</li> <li>通学路の安全確保は指標を挙げて進捗や状態が見えるようにされたい。</li> </ul>

下平 委員	・概ね妥当である。
橋爪 委員	・概ね妥当である。
市瀬 委員	・妥当と考える。
清水（優） 委員	・消防力の維持・向上には、消防団の存在が欠かせない。消防団員定数確保にむけた KPI を設定されたい。（③にも記述）
竹村 委員	・進捗状況確認指標、重要業績評価指標（K P I）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当と判断する。 ・進捗状況の実績値は累積表示のみであるが、単年度の実績値も記載いただくと、当年度の進捗状況がよりわかりやすくなる。
清水（勇） 委員	・ KPI の目標にづうちがある項目は妥当と思う
永井 委員	・概ね妥当

### （５）分野別計画

#### ▼いいだ未来デザイン 2028 戦略計画【2021（令和3）年度】分野別計画一覧

評価のポイント	評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	
② 取り組みの内容をどう評価するか	